

オスプレイの 配備撤回

危険な訓練
中止を

東京の共産党
区議・市議を先頭に
政府に要請

国会議員、
都議も参加



▲防衛省に要請する参加者

防衛省への主な要請内容

- 横田へのオスプレイ配備撤回
- 住宅密集地でのオスプレイの飛行訓練中止を
- パラシュート降下・物資投下訓練など中止を
- オスプレイの普天間基地など全国展開を認めるな
- 自治体に速やかな情報提供
- オスプレイの飛行、騒音調査を

日本共産党東京都地方議員団と都委員会は10月9日、福祉・教育の充実、オスプレイ配備撤回など切実な要望の実現を政府に要請しました。

防衛省要請には
田村、吉良、山添^{参院議員}
笠井、宮本^{衆院議員}が参加

防衛省の要請には田村智子副委員長、笠井亮、宮本徹両衆院議員、吉良よし子、山添拓両参院議員、小池晃参院議員秘書が同席。参加者らは、米軍機騒音の実態などをたどりました。防衛省の担当者は横田基地周辺で「米軍機の飛行回数が増えた測定地点がある」と認めました。

沖縄と連帯して米軍基地撤去を!!

沖縄知事選では、辺野古への米軍新基地建設反対を掲げたデニー氏が圧勝しました。政府は新基地建設を中止し、普天間基地の無条件撤去を決断すべきです。沖縄と連帯し、東京・横田からもオスプレイの配備撤回へ、声をあげ力を合わせましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子
日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可